

## 鹿児島県

鹿児島大学  
教育学部代用附属  
鹿児島市立  
伊敷中学校  
●生徒数:688名

# 「習慣と自主性」の確立。 アクティブラーニングの成功に つながる「あいさつ運動」

### 《学校紹介》

昭和22年開校。教育学部学生の教育実習の場としての役割ももつ。  
自主性を重んじる校風で、子女を同校に入学させたいという卒業生が多い。

### 【あいさつ運動概要】

- ◎主体: 生徒会
- ◎形態: 生徒会の担当生徒が校門前  
を中心とする登校経路で実施
- ◎頻度: 毎日

### 【特長】

同校の活動を端的に表すと「習慣と自主性」

です。生徒会があいさつ運動を主導していま  
すが、すでに生徒たちにはあいさつは当たり前のことになっています。

校門に入る前に、校舎に掲げられた校訓「志・寛・鍊」の三文字に深々と頭を下げます。その後、当番の生徒  
が竹ぼうきをもって一斉に校庭をはいて清めます。こうした規律を学校側が強いれば反感も持たれますが、  
生徒の間での自主的な行動ですので「何もしなければ、浮いてしまう」という意識も働きます。

入学直後はとまどう生徒もいますが、数か月でなじむそうです。簡単に真似のできるものではありませんが、  
学べることの多い究極の事例といえます。



●生徒会が中心になって毎日行われる登校時の「あいさつ運動」



●あいさつの後に校訓「志・寛・鍊」に一礼



●学校の周辺を毎朝清掃



●校庭を「はき清める」生徒

### 【メリット・効果】

- ◎問題行動をとる生徒がいなくなり、  
問題が起きても解消率が高い
- ◎アクティブラーニングを取り入れ  
やすい
- ◎非常に明るく、積極的に動ける生徒  
が増える

### トピックス

#### アクティブラーニングの成功を促す

授業はグループ単位でお互いに課題や意見を述べながら進められます。発言の少ない生徒を励ましあい、助け合  
いながら授業が進んでいます。授業だけではなく、文化祭等の行事でも生徒の自主性が発揮され、とても活発で  
す。アクティブラーニングには失敗事例もありますが、同校のような学校生活全般にわたる校風が成功への鍵に  
なると考えられます。



北園博之校長